

気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）の際の 議員会議の概要

令和6年11月
参議院国際部

1. 期 日

11月16日（土）及び17日（日）

2. 場 所

バクー（アゼルバイジャン）

3. 主 催

I P U及びアゼルバイジャン議会

4. 目 的

- ・ COPの主要事項及び方向性に関する最新情報の入手
- ・ COPに参加する政府交渉担当官との情報交換
- ・ 気候変動問題に対して議会のとるべき行動に関する意見交換 等

5. 参加者

世界各国の国会議員

6. 派遣人数

参議院議員 2名

7. 日本からの参加状況

日本は平成21（2009）年12月の初会合から公式派遣を実施しているが、本院はCOP20、COP26、COP27及びCOP28の派遣は行っていない。

（了）

気候変動枠組条約第 29 回締約国会議（COP29）の際の議員会議
（令和 6（2024）年 11 月 16 日及び 17 日、於 バクー（アゼルバイジャン））

仮議事日程

11 月 16 日（土）

開会セッション

世界の議員コミュニティに向けた特別講演

議題設定

気候変動による実際の影響の理解

第 1 セッション

気候コミットメントの現実化：緩和目標の引上げ及び国が決定する貢献の実施に向けた議会の役割

第 2 セッション

世界における気候資金をめぐる構造の説明：リソースの動員及び気候資金へのアクセスの合理化

第 3 セッション

気候変動に対するレジリエンスの強化：適応と地方のエンパワーメントの拡大

1 日目の総括及び閉会

11 月 17 日（日）

1 日目の総括及び 2 日目の概要

第 4 セッション

気候脆弱性への対処：気候行動に関する包括的かつ公平なアプローチの推進

第 5 セッション

気候変動に対処するためのテクノロジーの活用及び公平なアクセスの確保

第 6 セッション

気候変動に直面する健康及び食料安全保障確保のための取組

第 7 セッション

人間の流動性と気候変動への対応：気候変動による移住と避難

閉会セッション

成果文書の採択及び気候変動に関する議会行動の策定